

名古屋学院大学同窓会会報

NAGOYA GAKUIN UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION NEWS

第5号('94.10)

名古屋学院大学同窓会事務局発行

愛知県瀬戸市上品野町1350 TEL.0561-42-0999(直通)

創立30周年記念講演会、交流会などを母校と名古屋アメリカンセンター共催で開催!

今年は母校名古屋学院大学創立30周年の記念すべき年に当たります。同窓会は、例年行っているホームカミングデーに代えて、大学と共催で海外姉妹校の学長を招いて講演会・交流会など記念行事を企画いたしました。どうか、ご家族おそろいでご参加ください。

広く在学生・交換留学生・ご父母、教職員の皆さんにも呼びかけております。これを機にNGUファミリーの輪を大きく広げようではありませんか。

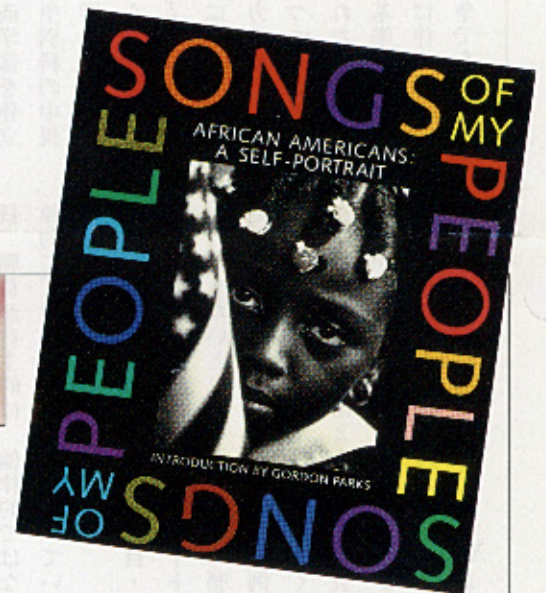
名古屋学院大学開学30周年記念 講演会・交流会

10月22日開催

テーマ "Toward Cross-Cultural Experiences for the 21st Century"
「21世紀の異文化交流に向けて」

- 第1部会 Dr. James R. Leutze, Chancellor
(University of North Carolina at Wilmington)
テーマ/Why Globe Watch Now?
- 第2部会 Dr. James R. Pluifer, Vice. President (Coe College)& Dr. Di. Yerbury,
Vice.Chancellor (Macquarie University) & 本学教員
テーマ/アメリカ、オーストラリアと日本の大学教育
- 第3部会 Dr. Ladell Payne, President (Randolph Macon College) & Dr. Hao Kegang,
President (西北大学) & 本学教員
テーマ/アメリカ人と日本人の中国観と中国人の対外観
- 第4部会 Mrs. Barbara I. Drexler, E. S. L. Director
(Coe College)
テーマ/E. S. L. 教育とは何か
- 一人芝居 (11時40分～12時30分)
Mr. James Patterson (Fellow, National Endowments of Art)
テーマ/Langston Hughes and the Harlem Renaissance

交流会
深まりゆく秋の1日、母校名古屋学院大学で生演奏を楽しみ、料理に舌つづみを打ちながら、旧友・恩師と旧交を温めましょう (おみやげ付、無料)。



同時開催 写真展

SONGS OF MY PEOPLE
— (わが民謡の歌) アメリカ黒人の素顔 —

※無料スクールバスをご利用下さい。
行き 9:30 川島聖寺駅前発・名学大前 9:00 地下鉄本郷駅発・名学大前
帰り 14:10 名学大前発・川島聖寺駅前 地下鉄本郷駅行

| | | |
|-------|------|---------------|
| 9:30 | 受付 | 六合館4階 |
| 10:00 | 講演会 | 本学教室 |
| 11:30 | | |
| 11:40 | 一人芝居 | チャペル |
| 12:30 | | |
| 12:40 | 交流会 | 第2学生食堂 思星館 |
| 14:00 | | |



1993年度卒業証書・学位記授与式が去る3月15日、本学栄光館において挙行され、経済学部経済学科476名、同商学科324名、外国語学部英米語学科150名、同中国語学科56名、合計1006名を新会員として迎え入れました。式では梶原寿宗教育部長の祈禱、卒業証書の授与、成績優秀者の表彰が行われたあと、西村昌高学長により、「苦難は忍耐を必要とし、耐え忍ぶ気力や体力を与えられる。忍耐によっていかなる状況の変化にも適用し、巧みに処理できる練達を生み、練達が生きる希望を生むことである」との送る言葉がありました。これで卒業生総数は21550名となりました。

卒業証書 学位記授与式 新たに1006名を迎える

一九九三年度

大学創立30周年を迎えて

学長 横井 弘美



本学が、学校法人名古屋学院を母体として、一九六四年名古屋市東区大幸町に開設されてから三〇年が経過しました。その間、他大学が経験しなかつたような苦渋の歴史をきざんでいますので、卒業生の皆さんはそれぞれに想い出があると思います。またこの数年間は、外国語学部を増設し、経済学部から商学部を独立させ、三学部四学科一留学生別科の中規模大学になりましたから、皆さんはそれなりに母校への期待をふくらませていると思います。卒業生総数は今春二一、五五〇名にもなりました。本学にとって、とても大切な、そして大きな力です。

現在全国の大学は変わりつつあると言っているでしょう。耳にされたことがあるでしょうが、大学の設置基準の大綱化と自己点検・評価の規定化に伴って、一九七〇年前後のあの大学紛争でも変らな

かつた大学がダイナミックに内実を整えようとしています。もちろん背景に一八歳人口の急減があるでしょう。六、七七年後には大学への進学希望者数と国公私立大学の収容定員数がほぼ同数の七〇万人になりますから、大学を選ばなければ進学希望者はどこかの大学に必ず入学できることとなります。当然進学希望に片寄りがありますから、定員数を確保できない大学が、〇校のうち三校くらいは出るだろうと予測されています。本学がこの三校のうちに入るようではいけません。そのためには時代のニーズからの評価に耐えうる、また学生のニーズに対応した内実をもった大学づくりを、理事会、教員、職員が自主的に、他律的ではなく自律的に、自己責任において行っていくなければなりません。

同窓の皆さんには、私ども役員・教職員のこのような内部努力をサポートしていただきたいと思えます。内外の歴史を刻んだ大学の事例からみますと、例えば教育・研究の充実のための基金づくりとか同窓会支部主催による父母懇談会の開催とかいろいろありますが、ともかく母校愛に根ざした皆さんのボランティア的奉仕を大いにご期待申し上げます。

新会長あいさつ

同窓会会長 占部 憲一



今年は何年にもなく猛暑と水不足が続いたりしてたいへんな年でしたが、同窓生の皆様にはお元気でご活躍のことと拝察いたします。平素は同窓会の運営に多大な配慮を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、役員任期満了による改選に当たり新しく執行部が船出しました。加藤前会長始め、前執行部の皆さんのご努力を心より感謝いたします。微力ではありますが、同窓会ならびに母校の発展のために力を注ぐ所存でございますので、よろしくお願いたします。

母校名古屋学院大学は、今年創立三〇周年を迎えることができました。三学部（経済学部・商学部・外国語学部）、一留学生別科で、優良中堅規模の私立大学として成長をつづけているとうかがっております。大学院設立も構想されており、

ますます期待されているところです。この紙面をお借りして、学長はじめ教職員・役員の方々に御礼申し上げます。

三〇年を節目として、新たな気持ちで、大学および同窓会が一体となり、さらなる飛躍のため力を合わせて進まなければなりません。同窓会としては次の重点施策の推進のために力を注ぎたいと考えていますので、会員各位のご支援、ご協力をお願いいたします。

- 一、三〇周年記念事業への積極的参加
- 二、支部づくり
- 三、年会費納入の促進
- 四、名簿の作成
- 五、大学の募金活動への協力

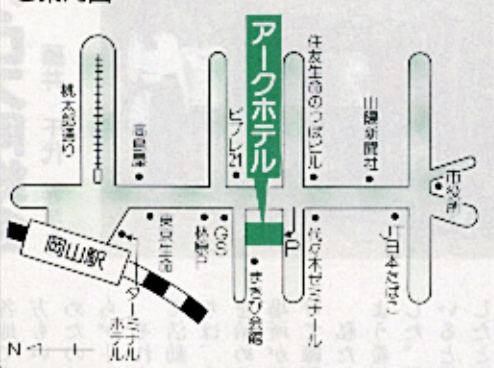
特に募金活動につきましては、すでにお手元に大学側より趣意書が届けられていると思えますが、主旨をご理解の上、母校の教学内容のより一層の充実のため、同窓生二一、五五〇名が一丸となって協力しようではありませんか。

また、十月二二日には、大学と共催で交流会が催されます。ぜひご家族おそろいでご参加ください。

(71年経済学部卒)

[中国・四国支部] 設立總會のご案内

ご案内図



アークホテル

〒700 岡山市下石井2丁目6-1
TEL 086(233)2200 FAX 086(225)1663

〈有料駐車場〉

立体駐車場の為、5ナンバーの普通車のみ
の御利用となります(背高車、幅広の御車
は、入場不可です)

関東、関西、三重、アメリカ支部について中国・四国支部の設立を計画しています。左記の要領で設立總會を開催いたしますので、中国・四国に在住の名古屋学院大学卒業生のみなさんふるってご参加ください。

とき 一九九四年十一月五日(土)

午後三時より設立總會

午後五時より親睦会

ところ 岡山アークホテル

○電話 086-233-2200

○住所 〒700 岡山市下石井2-6-1

参加費 七、〇〇〇円

連絡先 世話人 藤原 一致

(アストロ興産、電話0864-44-5252)

世話人 木南 正俊

(自宅、電話0839-25-0800)

三重支部

昨年の大学本部でのホームカミングデーの際、三重支部總會の決議事項の合意並びに母校の基盤の強化、拡充発展の希求支援の趣旨に沿って93年に引き続き、本年94年度今年の活動に当って、先ず本年度總會の予備会を2月11日久居市のレストラン本山(本大学のOB宅)にて有志6名で集いました。新年に行なわれた大学本部同窓会役員会の報告及び三重支部会の運営活動に当って、本部役員会への役員の追加選出、活動資金等、具体的運営面での議題の提起を行ない、3月27日湯の山グリーンホテルにて、二日間に渡って三重支部總會を開く事に決めました。湯の山温泉での總會では高田同窓会副会長の臨席にて総勢十名の出席にて、

関東支部

昨年7月31日(土)に、東京地区で第一回同窓会が開かれ20名が創立總會にはせまじました。会場は、東京六本木の日米交流に由緒ある「国際文化会館・榊山ルーム」にて立食形式で行なわれ、参加者も1期生(2名)から93年度卒業生まで幅広く集まりました。当日、参加の諸氏は自己紹介とともに、懐かしい大学時代のエピソードや近況についてユーモアをまじえた楽しい雰囲気なかで語りあいました。名古屋学院大学

大学の現況、今後将来に至る存亡の憂いと同時に更なる飛躍発展を願い、影に日向に大学支援の方法論を多種活発に談義致しました。

三重支部会そのものも、当初発足時よりさらに若い世代に活動を移行し、盛り上げて行こうとの方向で、30歳代のOBの方々に中心になって頂いて、幅広く一層の活性化を図って行こうとの総意で總會の締めくくりと致しました。今後の大学に要望したい項目としては、マスコミ出版会、予備校等に対し、チャンネルが弱い印象を外部より私達は感じ、広く日本社会、或いは世間にもっとその存在と優秀さをアピールして、井の中の蛙的な天下太平の安泰に甘んじること無く、刷新と改革、発展と安定をめざし世間の高い評価を得るようになってもらいたいと祈念致しております。

今年の秋頃本年第二回目の支部總會を予定しております。

(三重支部 中野 隆自)

が創立されてより三〇年近く経過したにもかかわらず、互いの集まる機会がこれまでなかった事は非常に残念なことであったため、今後は定期的に年一回同窓会を行なう事となりました。

なお、当日の会を有意義なものとするため同窓生(3名)による専門的テーマの講演も行なわれ、会を有意義なものとなりました。内容は以下のとおりです。

1 「金融市場の変化と現況」伊藤 忠治氏(創価短期大学・専任講師)

2 「日本IBMのパソコン戦略」戸塚 正康氏

3 「日本の大学改革の現状と国際交流」小松 照幸(名古屋学院大学・助教授)

(関東支部 小松照幸)

ラクロス同好会

藤井 千代 (在学生)



ラクロスというスポーツをご存じでしょうか。最近、各地で盛んに行われていますので、名前だけはご存じの方もいらっしゃると思います。私たちがラクロスをはじめたのは、ある留学生の希望でラクロス普及部の方々からゲームを直接紹介してもらったのがきっかけでした。それまで、「私たちの大学には、なぜ女の子がはりきって活動できる運動部がないのだろう」と嘆いていた私たちは、その話に飛びついたのでした。しかし、新しいことを始めるのは容易ではありませんでした。学校では練習場所が確保できず、車で近くの野球場や河川敷まで出かけて練習しました。

私たちは、体育会のクラブのひとつとして活動できるよう希望したのですが、なかなかうまくは運びませんでした。学校の施設を借りるときに、同好会と認められていると思いいこんで、申込書に「ラクロス同好会」と記入したところ、書類不備として突き返されてしまいました。これにもめげず、私たちは、何度も学生課と体育会室に通いつづけ、今年の五月には同好会として正式に学校に認めてもらいました。

現在、約三十名のメンバーが、校内のグラウンドで共に汗を流しています。ラクロスがもっと盛んになるようにがんばります。

女子バレー部

渡辺 玲 (在学生)



名古屋学院大学に女子バレー部ができたのは3年前。バレーボールをやりたいという女の子が集まり作られました。少なかつた部員も徐々に増え、現在部員は17名。練習時間は主に昼休みを利用し、試合前に練習時間を増やすようにしています。今年の春からリーグ戦にも参加しました。7部からのスタートでしたが、試合という目標ができたことにより、部員の意識も少しずつ変わっていき、練習内容も楽しいバレーから、より実戦的なものを求められるようになりました。クラブとしての形が徐々にではありますが、しっかりと作られていくのを感じています。リーグ戦の結果はというと、12チーム中3位という成績でした。もちろん優勝を目指していましたが、この成績で満足することはできませんでしたが、初の公式戦で入賞できたことに素直に喜びました。今後は、6部リーグに昇格しさらに上のリーグを狙うだけの実力のあるチームを作りつつ、純粹にバレーボールを楽しむ楽しいクラブとしても頑張っていきたいと思っています。

活躍する後輩達の成果

- 【アーチェリー部】(リーグ2部) 東海学生アーチェリーリーグ戦/5位 第1回東海学生アーチェリー連盟ウィルアムカップ/男子3位
- 【ウエイトトレーニング部】(中) 東海学生バウリフティング選手権大会/総合1位/個人戦(67.5kg級)1位・川上晃、67.5kg級3位・柴田英俊、66kg級2位・磯谷和恵、太田照正、60kg級3位・竹中芳文、82.5kg級2位・服部哲也、今日本バウリフティング大会/56kg級3位・磯谷和恵、67.5kg級6位・川上晃、82.5kg級8位・服部哲也/中部学生秋季バウリフティング選手権大会/団体優勝/個人新人戦)56kg級1位・木原晋平、75kg級1位・市川品章(個人戦)56kg級2位・石田誠二、伊藤貴史、60kg級1位・磯谷和恵、太田照正、3位・西田宗治67.5kg級1位・川上晃、3位・柴田英俊、75kg級2位・水野光春、82.5kg級2位・服部哲也
- 【空手道部】(東) 東海学生空手道選手権大会/団体4位/最優秀選手賞・荒田純也、個人戦3位
- 【剣道部】(東) 東海学生剣道優勝大会/団体7位
- 【東海学生剣道新人優勝大会】/2回戦敗退
- 【硬式テニス部】(リーグ2部) 第2回東海対抗テニスリーグ戦/団体優勝/全日本大学対抗テニス王座決定 東海地区予選/団体3位
- 【硬式野球部】(リーグ2部) 愛知大学野球春季・秋季リーグ戦/優勝/最優秀選手・長尾仁心
- 【ゴルフ部】(中) 東海学生新人戦/個人3位・仲野隆一、小出雅希
- 【サッカークラブ】(リーグ2部) 東海大学サッカーリーグ戦2位(リーグ1部昇格)
- 【少林寺拳法部】(東) 東海学生大会/団体3位/自由組演武中奉士以上の部最優秀・森野隆司/規定組演武奉士以下の部最優秀・青木光則、森田智宏/乱取り最優秀・伊藤泰裕、井上直樹、小林正和、宇佐美益巳/規定組演武奉士最優秀・青木光則、森田智宏
- 【自動車部】(中) 東海学生自動車運転技術大会/普通自動車部 優勝・奥田真一、2位・伊藤茂、小型乗用部 優勝・藤井勇一、2位・奥田真一、3位・花嶋悠、小型貨物の部 優勝・水上市昌信、2位・安藤敬明、3位・竹内友哉、新人戦小型乗用部 優勝・加藤隼人、小型貨物の部 優勝・丸地啓介、武井良子
- 【柔道部】(リーグ1部) 第40回東海学生柔道夏季選手権大会(リーグ2部降格)
- 【準硬式野球部】(リーグ1部) 東海大学準硬式野球秋季リーグ戦3位 第11回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会/出場選手・白井太郎、内山和政/東海大学準硬式野球秋季リーグ戦/本塁打王・福井太郎
- 【水泳部】(愛) 愛知県室内選手権大会/団体3位
- 【中部私学対抗水泳大会】50M自由形1位・横井仁和/中部学生選手権水泳競技大会兼日本学生選手権大会予選/総合3位/2回個人メドレー3位・回分次部/300Mメドレーリレー3位・田中敬也、今村寛、丹羽啓介/400Mフリーリレー3位・伊藤隆道、太田安志/中部学生選手権(水球)総合優勝(全日本出場)
- 【全日本学生選手権水球競技/団体16位】
- 【卓球部】(リーグ1部) 東海学生春季リーグ戦/団体4位/全日本大学対抗卓球大会/ソフトテニス部/団体4位
- 【女子ソフトテニス部】(男子リーグ1部) 春季東海学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦/4位
- 【女子ソフトテニス部】(春季東海学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦)1位
- 【日本拳法部】(愛) 愛知県大会/個人優勝・中根尚子、3位・鈴木千賀/第35回中部学生拳法選手権大会/準優勝/全日本拳法総合選手権大会/個人2位・中根尚子/第28回中部学生拳法新人戦大会/団体優勝/第7回日本拳法中部総合大会/個人戦優勝・中根尚子、3位渡辺秀人
- 【ハンドボール部】(リーグ2部) 東海学生リーグ秋季大会/1位
- 【バスケットボール部】(下部) 東海学生バスケットボールリーグ戦/9位
- 【バドミントン部】(リーグ2部) 東海学生選手権大会/優勝(リーグ1部昇格) 東海新人戦バドミントン大会(男子)
- 【バレーボール部】(リーグ2部) 秋季東海大学リーグ戦/2位
- 【馬術部】(馬) 第28回中部学生自馬競技大会/中隔害飛越競技 個人優勝・別所伸治/中部学生馬術大会賞典/3位・西田啓子/第21回中部学生個人選手権大会/予選落ち
- 【ボウリング部】(第31回全日本大学ボウリング選手権大会)予選落ち
- 【ボクシング部】(第32回中部学生ボクシング選手権大会)3対4で敗退/第23回中部学生ボクシング新人戦/団体4位
- 【陸上競技部】(第58回東海学生陸上競技対抗選手権大会)砲丸投げ/3位・高岡晋/フィールドの部/団体3位
- 【Judo】Nagoya International the 34th English Drama Festival 団体優勝
- 【美術部】(第17回愛知学生総合展/愛知芸術文化センター)本業制作展示発表会/大畑ギヤラー
- 【マンドリンクラブ】(第27回定期演奏会/瀬戸文化センター)3大学合同演奏会/名古屋市民会館
- 【JAZZ研究会】(第13回山の滝よいとこ祭)出演
- 【商業デザイン】卒業展示会
- 【クラークホール】(第27回定期演奏会/名古屋市民会館ホール)瀬戸合唱フェスティバル
- 【愛知合唱会】
- 【写真部】(写真展)愛知芸術部連盟統合展

就職

同窓生の声



この就職戦線

●学生サービスセンター次長

山田 直義

厳しい就職戦線、特に女子大生の就職難についての報道が、マスコミのトレンドになったかの様相を見せております。同窓生の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

「俺んとこの会社には、後輩がちつとも来えへんがや、一体どうなつとるんだ。」とお嘆きの方もあるかと思えます。四・五年前には、「二人に一人は上場企業」と言われた時期もありましたが、バブル経済崩壊以後は、一斉にリストラ・人員削減の嵐に見舞われております。

数字的に見ても、一九九四年は求人票の受付が、日計推移まで比例して一九九一年の半分となっております。「今迄は提出しても応募者が期待できないので出さなかつた」新規参入も含めての数字ですから、実態はさらに悪いと言えましょう。

「資料請求しても応じてもらえない」女子学生・下宿生。「ビルの六階で開催されている合同企業展の入場希望者の列が一階の玄関まで続いている」勿論、参加者にハワイ旅行の抽選もなければ、テレカももらえない。



| 学 科 | 経済学科 | 商学科 | 英米語学科 | 中国語学科 | 合 計 |
|-------------|------|-----|-------|-------|------|
| 94年3月卒業生数 | 476 | 324 | 150 | 56 | 1006 |
| 就職希望登録者数(A) | 424 | 280 | 118 | 50 | 872 |
| 就職決定者数(B) | 422 | 280 | 111 | 49 | 862 |
| 就職決定率 A/B | 99.5 | 100 | 94.1 | 98.0 | 98.9 |



「会社説明会の参加希望者が多過ぎて予約が取れない。」
「説明会に参加していない者は入社試験を受けられない。」
「二次面接で最終だ」と言われていたのに、「二次合格通知に、「最終試験の日は後日お知らせします」と書いてあった。」
「面接で聞かれたのは、「当社の社長の名前を知っていますか」だけだった。」(勿論、暗記してあった。)等々、学生達の悲鳴に近い報告が、就職課に寄せられています。

在学生に取って、一番辛いことが、「先輩の居る会社就職できない」ことです。

O B就職先一覽を見て、受験企業をリストアップし、O B訪問をして、企業の説明を受け、励まされて受験しても不合格になるケースが増えています。

先輩方の活躍で、企業のイメージ・レベルが上昇して難しくなってしまったばかりではなく、採用ワクの減少・希望者の増大がこの現象を作っているようです。又、年々強くなる一方の、学生達の地元志向が、全国に支店・営業所網を持つ企業へのチャレンジを敬遠させてしま

まっています。

例えば、金融業界を希望している者の、信用金庫・農業協同組合への進出は飛び抜けて増加しています。

一方、着実に就職活動をしてきた者は、希望通りの採用内定を獲得しており、内定報告者も確実に増えております。却って、複数内定の辞退をどうしたら良いのか相談に来る、羨ましい学生も少なくありません。

しかし、学生の就職活動は、卒業間際迄延々と続けられるでしょうし、来年度・再来年度の状況も、大きく好転するとは思われません。

同窓生諸兄の御援助・採用情報の提供を、お願い致します。また、同窓会から発刊される、充実した「同窓会名簿」によってO Bへの距離が身近なものとなり、後輩が、色々ご指導を仰ぎにお訪ねすることとなると思っておりますので、合わせてよろしくお願ひ致します。



広告の世界に生きる

●一九九二年

今村 健一

業界という華やかな世界に憧れて、広告業界を自分の職業として選び、運よく新東通信という広告会社に、入社し、あつという間に二年が経過しました。

入社した一年目は、社会人としての一般常識から今まで聞いたこともないような広告用語(私の場合、住宅関係の部署にいる為住宅関係の用語など)など、大した知識もなく初めてとびこんだこの世界は何を見ても新鮮でした。2年目になると少しずつ周りも見えてきてそれなりに知識を得て、広告の世界が少し分かりはじめました。しかし分かり始めるとこの業界の良い面、悪い面も見えてきます。それを自分の中でどういう風に消化し、取り入れていくか、切り捨てていくかによって、仕事への取組みも変わってくるのではないのでしょうか。私も今年で3年目になり自分なりの仕事ができるようになりましたが、まだまだ一人前とはいえません。今年からが本当の勝負ではないかと思ひます。



服部君の死に思う 米国留学生への教訓

●一九七六年卒

二ノ湯とく子

"I'm sorry, it was miscommunication. I never happen again."
無罪判決直後、弁護士を伴って報道陣のインタビューに答えた本人。さらにこれからも銃を持つかという質問に「イエス」と答えた30才位のごく普通のサラリーマンタイプに見えるまだ若い男性。事件以来、ちょうどハロウィーンの時期と重っていることもあって、数日間ニュースや新聞に取り上げられアメリカの人々の関心を集めた事件でした。私自身は有罪を期待していただけに、無罪と決まった時は本当に残念でした。「家族を守るための防衛手段だった」と主張していましたが、死人に口なしで、自分の都合に合わせて正当防衛にしてしまった様にも思われました。正当防衛ばかりが正当化されて、服部君の死の方が軽くなってしまった残念な事件でありました。

ミスコミュニケーションの争点となった、「フリーズ」と「フリーズ」、これは言葉がわからなくても、その場のムードで理解できたであろうし、家をまわがえた服部君にとつては、それもハロウィーンのおまつりの一部と勘違いしたのかも知れません。なぜ威嚇射撃に止めておかなかったのか、もし足元だけをねらっただけだったら、軽いけがで助かったかもしれない。はっきりした危害を加えた証拠もないまま、撃つ側にとつてもいろいろ方法があったのに、その時の感情で相手を殺してしまっても正当防衛が認められたことに、私は恐怖さえ感じました。

口頭、私自身も道をまわがえれば、車を止めて人に聞かすし、民家の少ない所では、知らない家に寄つて「誰その家はどこですか」とたずねることもあるのです。服部君のようなケースは誰にでも起こり得ることなのです。

アメリカでは常に、「殺されたのが白人だったら、撃つたのが黒人だったら、判決はどうなつたらうか」と考えます。時は同じくして、アンカレッジでも、ひんぱんに強盗に入られて、勳忍袋の緒が切れた家具店主が、ついにガンを取り出して万引き高校生を背後から撃つてしまったという事件がありました。白人の高校生と白人の店主でしたが、店主は5年の実刑という判決でした。理由は「たとえ強盗

とはいえ、殺される権利はない」というものでした。服部君の件と比べて土地柄でこんなに考え方が違うものだろうか、かえつてこの店主は人々の同情を買ったものでした。服部君の事件はルイジアナという南部の州で、今大人種差別が強い所だそうだし、アラスカは歴史が浅くよそ者ばかり集まった比較的公平に思われる所です。

服部君の死の教訓から学ぶことは、アメリカへ留学する学生たちは「もはやアメリカはキング牧師の言われたような『I have a dream』という状態ではなくなりつつある」とことをよく肝に命じて日本を離れてほしいということ。野に放された鳥のように軽く飛ばずその土地を知り、その土地に住んでいる人に頼り、教えてもらい、慎重に行動することだと思えます。

アメリカの犯罪はうなぎ登り、私の住む人口たった25万人のアンカレッジさえ、このところハンドガンで通行人を車から撃つ事件が続いたり、中学生、高校生のハンドガンによる事故死や殺人があつたと絶ちません。アラスカ州議会では、そういった場合に自己防衛ができるという理由からか、ハンドガンの登録はするけれどガンを携帯してもよいという規則が通つてしまつたばかりです。ガンコントロールは困難をきわめるばかりです。



国際ビジネスの現場 ニューヨークにて

●一九八八年卒

谷崎 修

NGU経済学部を卒業して早5年が過ぎました。今私は28才で、近畿銀行へ入行し名古屋の堀田支店で1年間出納という仕事をし、2年目から海外(営業)になって以来、今年の4月まで5000のバイクに乗って雨の日も嵐の日もお客様の家に向かつて走っていました。この海外という仕事を語ると話が長くなってしまい、涙なしではいられないほど惨めで悲惨な気持ちになつてしまっています。ちょっとだけここにのせておきます。

海外という仕事は私には理不尽なことをする、またはされることのように思えます。いりもしないお金を貸したり、またほかの銀行から中途解約させて預金させたり、ノルマ

のために出来ることはなんでもするという理不尽な世に生産性をもたらさない仕事であつたという印象が、つよく気持ちの中にあります。

また、理不尽なことをされるといふ意味では上司からかくも恐ろしいノルマを言い渡され、達成するまで帰つてくるとか、「やる気がないのか」とつめられてしまい、一歩間違つるとノイローゼになり兼ねない仕事であると感じています。しかしそこには「ただし」とつきます。もし海外活動の中で、お客様に信頼され、気に入られて理不尽なお願ひも、「しかたない、あんなのためならやつてやろう。」と思わせることができたなら、これは海外活動を成功に近づける要因となります。

海外というのはそんな仕事です。私は4年間、それに耐えてきました。その間私の気持ちの中で思い続けた事は、なんとか英語が使える仕事をしたということでした。NGU時代に経験できた9か月間のアラスカ大学生活で覚えたいい加減な英語を忘れまいと、社会人になつてからも英会話学校に通い続けていました。それでも英語のボキャブラリーは確実に失われていき、英語が使える仕事という目標もあきらめつつありました。

そこへきて、今回ニューヨーク支店勤務を命じられ、その内示をもらった時にはあまりの嬉しさに涙で酔い潰れてしまいました。

ニューヨークにきて2か月になりましたがまだ余り慣れずおらず、仕事を覚えるので一生懸命です。私の今やっているのは、主計という仕事で、アシスタントマネージャーというポジションをもらっています。

アラスカとニューヨークではなにかがうかというところ、すべてが違います。アラスカの印象は、とても寒く、人の少ない、自然がいつもみじかである印象が強かつたのですが、ニューヨークは人種のるつぼであり、高層ビルとビジネスマンの街であると思います。アラスカでは日本を感じさせるものがほとんど無く、たまに日本食を食べたりすると感激していましたが、ニューヨークはなんでもあり日本人もほんとにたくさんいるので日本を恋しく思うこともありません。

今の私の目標は、そんなニューヨーク生活を少しでも長くエンジョイできるように仕事を頑張ることです。

私の後輩たちに期待することは、頑張つてNGUの名を広めてほしいことです。私もまだ若いので、その役目を果たせるよう頑張りたいと思っています。

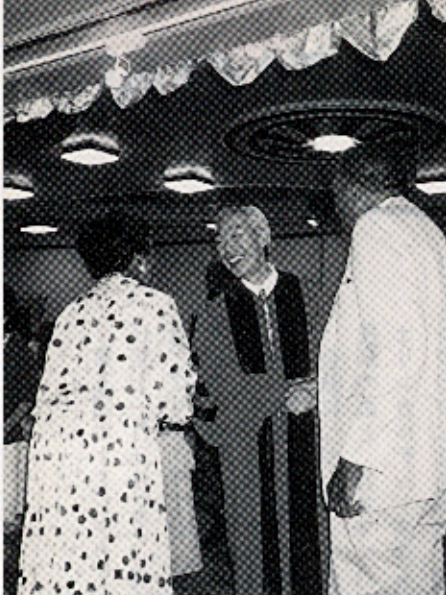
キング牧師の足跡を訪ねて 梶原 寿 ●(宗教学担当教授)

私は今夏七月家族と共に三週間かけて米国訪問の旅をしてきた。目的は長年私淑してきた故マーティン・ルーサー・キング牧師の足跡を訪ねることであった。ここではその中の一つ、ニューヨーク・ハーレムのケイナン・バプテスト教会を訪ねた時のことを報告しよう。

七月十日(日)の朝、私は約千人の人々(殆どは黒人、しかし白人も参加している)の前に「彼は朝が来ることを知っていた」と題して説教した。この題を私が選んだのは、キング牧師が二十六年前の暗殺十日前にこの同じ説教壇から、それと同じ趣旨の説教をしているからであった。聴衆の熱烈な応答は私を深く感動させた。

私がわが名学院大の宗教学講師として赴任したのは、二十六年(一九六八年)の四月、私はテキサストとしてキング牧師の「白山への大いなる歩み」(岩波新書)を指定していた。ところが授業開始を目前にして私は彼が凶弾に倒れたことを知らされたのである。それ以来キング牧師のことは片時も私の念頭から離れたことはない。このたびそのキング牧師が立った同じ説教壇から、彼の説教をまた生き生きと覚えている聴衆に向かって語る事ができた感動を、私は生涯忘れることがないだろう。

卒業生の中には私が授業の中でたびたび引用した「ブラック・イズ・ビューティフル」という言葉を覚えていて方もおられることと思う。キング牧師はその言葉をまさに身をもって実践された方である。今アメリカの暦には一月の第三月曜日が「M.L.K.キング記念国民祝日」として記載されている。また日本でも最近ではキング牧師への関心が非常に高まってきていて、私などへの問い合わせもたびたびである。その意味でもこのたびの訪問旅行は有益であった。



1994年度 入試結果

一九九四年度一般入試は、昨年度同様十八才人口の減少、社会科学および人文科学系学部の影響を懸念し、長引く不況感による国立大学志願者や志願者一人当たりの併願校数の減少など、私立大学にとって厳しい環境のなかで実施されました。特に東京周辺の中央大学、関西地区の各大学は、おしなべて相当数の志願者減を記録し、新たな入試戦略の展開を迫られつつあります。

本学の場合、経済学部は昨年比十六%、六二八名、外国語学部英米語学科は六%、八八名、中国語学科は三二%、一九七名の減少となりました。このように本学の三学部四学科のうち、二学部三学科において志願者数の減少がみられた中で、商学部のみは五七%、一四四六名の大幅な増加を示し、結果的に本学の志願者数(一般入試)は、九〇五七名、昨年比約六%の増加となりました。

次に各学部の特徴を考えますと、経済学部は、先に述べた通り、志願者数四〇〇名台を割り込みました。この結果、倍率・合格最低点とも下落し、易化傾向を示しました。一方、商学部は、昨年の大幅な志願者減の強り戻しとともに商学部独自の試験方式(アラカルト方式)の浸透、不況下での「実学」への期待などが相まって志願者増となりました。

英米語学科は、従来から女子の合格率が男子に比べて高く、現況優勢の原因となっていました。これがさらに促進され女子合格者の占有率は過去最高の六三%を記録しました。中国語学科は、昨年東京・大阪に試験場を設置し、大幅に志願者数を伸ばしましたが、これが今年の志願者には「難化」として受け止められ減少したものと認められます。

推薦入試も全学部で指定校推薦、経済学部および商学部で公募制一般推薦、スポーツ推薦入試を実施、各制度の趣旨に基づいた募集を行いました。このほか、外国人留学生、海外帰国子女、社会人入試など社会の変化に対応する多様な入試を展開しました。最終入学者は一一一七名、うち女子は二五二名、二二%で過去最高の女子入学者を記録したことが特筆できます。

(一九九五年度入試要項)

一九九五年度入試は、全学部・学科において一般入試、推薦入試、特別入試を実施します。まず、一般入試ですが経済学部、商学部で地方試験場として新たに大垣試験場を設置します。また、外国語学部英米語学科でも豊橋、大垣の各試験場を新設、名古屋周辺地区の受験生増の起こしを目指します。その他、試験科目、配点、試験時間など前年度との変更点はありません。

推薦入試は、経済学部と商学部が公募制一般推薦試験と特別推薦試験(指定校、スポーツ)、外国語学部が指定校制の推薦試験を実施します。

一般推薦試験は、現役で本学を志願とする者を対象に一般公募制で行なわれ、選考は書類審査、基礎学力テスト(小論文を

含む)および面接の総合評価で選考されます。スポーツ推薦は、経済学部は合計二六の競技種目にわたって行なわれますが、商学部はサッカーのみに種目が限定されます。(スポーツ推薦は、商学部とも事前に「競技力の確認」という予備審査が行なわれます)

●1994年度入試結果

| 試験区分 | 学部 | 学科 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 競争倍率 |
|------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| 一般入試 | 経済学部 | 経済学科 | 3,373 | 3,329 | 775 | 4.3 |
| | | 数学部 | 3,373 | 3,321 | 621 | 5.3 |
| | 外国語学部 | 英米語学科 | 1,235 | 1,247 | 366 | 3.2 |
| | | 中国語学科 | 417 | 406 | 104 | 3.9 |
| 推薦入試 | 経済学部 | 経済学科 | 413 | 410 | 206 | 1.4 |
| | 商学部 | 商学科 | 343 | 345 | 195 | 1.3 |
| | 外国語学部 | 英米語学科 | 95 | 95 | 65 | 1.3 |
| | | 中国語学科 | 31 | 31 | 30 | 1.0 |

※一般入試は特別試験(海外帰国子女、社会人、外国人留学生)を除く

※推薦入試の経済学部と商学部は、一般推薦と特別推薦(指定校・スポーツ)を合算した数字。

●1995年度一般推薦試験(入試日程)

| 学部 | 学科 | 出願期間 | 試験日 | 試験地 | 合格発表 |
|------|------|----------|---------|-----|--------|
| 経済学部 | 経済学科 | 11月4日迄 | 11月26日出 | 本学 | 12月2日迄 |
| 商学部 | 商学科 | ~11月15日迄 | | | |

●1995年度一般試験(入試日程)

| 学部 | 学科 | 出願期間 | 試験日 | 試験地 | 合格発表 |
|-------|-------|-------------------|-------|----------------------------|--------|
| 経済学部 | 経済学科 | 1月13日迄 ~1月23日迄 | 2月1日水 | 本学、浜松、津会沢、岡山、福岡、東京、大阪豊橋、大垣 | 2月13日迄 |
| 商学部 | 商学科 | | 2月2日木 | | |
| 外国語学部 | 英米語学科 | | 2月4日出 | | |
| | 中国語学科 | | 2月4日出 | 本学、東京、大阪 | |

※要項請求等の詳細は入試・広報課へお問い合わせください。

第5回ホームカミングデー報告



第五回ホームカミングカミングデーが、一九九三年十一月三日(水)、文化の日に催されました。グリーククラブが、男声合唱組曲「砂上」などを披露する中、毎年この日を待ちわびるOBとその家族、教職員ら三〇〇名がぞくぞくと思泉館に集い、旧交を温めました。

会長につづいて、学長、理事長ほか来賓の挨拶のあと、名フィルのメンバーによるバイオリンカルテット演奏会。つづいてマンドリンクラブによる演奏と盛りだくさんの催しが行われました。また、当日は入試相談・就職相談コーナーも設けられ、子息の教育、就職について熱心に相談する姿が見られました。

会場では、大学広報用のビデオ撮影も行われ、同窓生がインタビューを受ける場面もありました。料理に舌つづみを打ち、先生方のスピーチに耳をかたむけ、同窓生たちと懇談し、最後は、ビンゴゲームによる抽選会で、豪華な賞品に一喜一憂して、秋の一日を過ごしました。

事務局だより

年会費のお願い

大学同窓会は、卒業生の皆様の会費で運営されております。今後、大学をもちたて、同窓会ネットワークを充実させるためには、ぜひしっかりとした財源が必要です。なにとぞご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。会費は、同封の振込用紙をご利用の上、一口以上のお振込をお願いいたします。

●年会費 一〇二、〇〇〇円

支部連絡先

各支部では毎年支部会を開催しています。

お問い合わせは下記へお願いします。

●関西支部

大阪市生野区生野一―一三七

中川博嗣(六八年卒)

☎〇六一七二二―三五七四

(中川登記測量事務所内)

●三重支部

三重県三重郡朝日町柿二一六九

稲垣民三(六八年卒)

☎〇五九三―七七二八三一

●関東支部

東京都世田谷区野沢四―八―八

小松照幸(六九年卒)

☎〇三―三四二二―二三四三

●アメリカ支部

3501E, 66th Ave, Anchorage, Alaska, USA

二之湯よう子(七六年卒)

☎九〇七―三四四―七〇八七

◇同窓会室開室

月々金 九時三〇分―一六時三〇分

直通電話 (FAX兼用)

〇五六一―四二一―〇九九九

会員名簿の頒布について

1994年度中に「名古屋学院大学同窓会会員名簿」が発行されます。ご希望の方に頒布する予定です。なお、会員の皆さんから広告を募り、掲載したいと思っておりますので、ぜひお申し出下さい。

「名古屋学院大学 創立三十周年史」発行

かねてより編集中の「記念史」が大学より発行されました。すでに予約された方、および購入希望の方は同封の振込用紙にて、会費とともにお振込ください。

